



令和6年度 危険物事故防止対策論文表彰記念 危険物事故防止対策論文に対する講評

消防庁長官賞

【論文標題】 給油取扱所に係る事故防止対策についての提言

【講 評】 給油取扱所は私たちの身近にあり、多様な人々が利用する危険物施設であることから、その危険性を熟知しない利用者の事故防止は重要な課題である。本論文では、最近の給油取扱所における事故の発生状況を踏まえた事故防止に向けた取組例を紹介するとともに、より効果的な事故防止対策の検討を行い、その結果に基づく提言がされていることが評価された。

前述の事故防止対策の検討では、固定給油設備の安全継手が作動した事故事例に着目し、最近の破損事例について FTA による発生原因の分析を実施したうえで、現状の設備でも実施可能な方策の他に、今後、導入が見込まれる AI システムがこの種の事故の防止に寄与することの可能性にも言及されており、給油取扱所における事故防止に極めて有効であると思われる。

危険物保安技術協会理事長賞 (2編)

【論文標題】 コンビナート製造現場中核人材事業－事業発足の経緯と 17 年間の運用実績－

【講 評】 保安安全の核となる人材育成について、産業界と大学とがコンソーシアムを構成し、各社がノウハウを出し合いながら Know-Why に重点を置いた教育プログラムを設定し、協力体制を構築していることが評価された。

また、この事業が 17 年間にわたり自立的に継続運営されてきた実績は、この取組の有効性の証であり、他の石油コンビナート地区等においても参考となる事例と思われる。

【論文標題】 石油コンビナートでの事故がなぜ増え続けるのか!? その背景にある課題を探す
～事業所ヒアリングを踏まえて得られたもの～

【講 評】 石油コンビナートにおける事故増加の背景に潜む要因を検討することを目的として、立入検査と併せてオンライン調査を実施し、現場の「肌感覚」から現状把握を試みるというユニークなアプローチが評価された。

また、その分析結果より行政の立場から指導すべき内容を提言として明確に示されている点も良かった。

奨励賞 (2編)

【論文標題】 基本と手順を作業時に具体的に実行する研修指導の難しさへの対応

【講 評】 危険物取扱現場における研修指導の課題を示し、手順書や研修指導の進め方の改善に向けた考え方や具体的な取組内容について示されていることが評価された。

【論文標題】 噴射剤を含む危険物の試験前処理手法に関する研究について

【講 評】 スプレー缶内の噴射剤以外の成分について、危険物判定を行う方法を示し、科学的な考察を加えて提案するとともに、実用化に向けた課題も示されていることが評価された。